

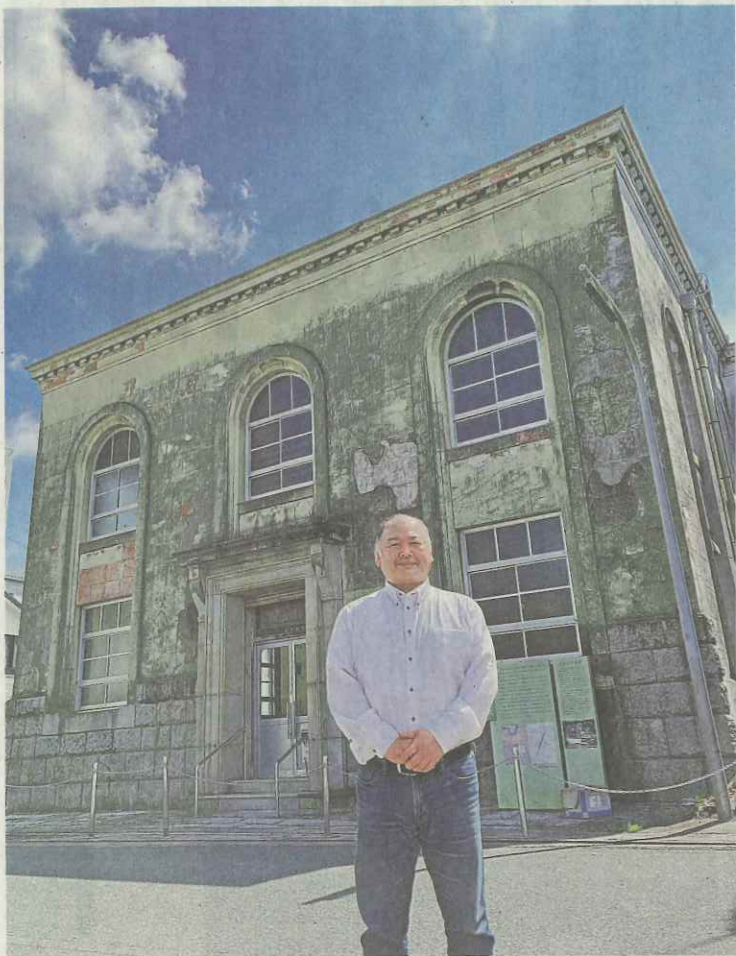
旧久留米市民図書館西分館

耐震、改装工事へ資金募る

旧久留米市民図書館西分館(同市日吉町)を買い取った。30日まで、1千万円を目標額とする。「地元のある和食店「惣吉」が、建物の耐震化や改装工事のため有形文化財への登録も目指すという。

アンディング(CF)を始めた。30日まで、1千万円を目標額とする。「地元のある和食店「惣吉」が、建物の耐震化や改装工事のため有形文化財への登録も目指すという。

福岡銀行前身の十七銀行久留米支店として建てられた。45年に福銀の支店となつた後、68年に久留米市が



旧久留米市民図書館西分館の前に立つ松石和博さん。工事は9月中に始める予定という

買い取り 開店準備の和食店「惣吉」 国文化財登録も目指す

土地と建物を購入。2010年まで図書館だった。敷地内には、江戸初期の筑後国主田中吉政が、柳川と久留米を結んで整備した旧柳川往還の一部が残っている。

店主の松石和博さん(51)によると、当初、今春開店を念頭に準備を進めてきたが、新型コロナ禍の長期化



入り口には「十七銀行久留米支店」の文字がかすかに残っている

に伴い、工事開始を延期せざるを得なくなった。また、登録有形文化財を目指すために外壁など建築当初の意匠を復元する必要がある。工事が想定以上の約9千万円かかると分かった。「100年近く前の建物だけど、久留米空襲でもここは焼け残った。無くなるべき建物ではない」。CFを活用し、広く支援を募ることを決めた。

久留米の町割を行い、現在の町並みの礎を築いたとも言える田中氏を仰ぎ、松石さんは1月、店を法人化して社名を「ヨシマサ」とした。現在営む店舗は旧西別館の新店舗に集約する。「歴史と文化を学び、料理にも生かしている。歴史ある空間と食を楽しむで

CFサイト「CAMPPIRE」で募集中。5千円、5万円のプランで、店内ネームプレートへの名入れやとらふぐセット、食事券の返礼品がある。(大矢和世)